

阪南大学 4号館



外観

「阪南大学」は、1939(昭和14)年に創立した大鉄工学校を起源とし、1965(昭和40)年に発足した、歴史を誇る私立大学。大阪府松原市の本キャンパスに、新校舎4号館を完成。5階建ての全学部共通の教室棟である。



1F(スタイリッシュ) 女性トイレ 全体

1Fトイレのデザインテーマは「スタイリッシュ」。別世界のような空間を演出し、白・黒のシンプルなカラースキーム。煌びやかなライン照明の点と線が交わり天井に発展していくデザインは、活発で未来的な空間を表現。



1F(スタイリッシュ) 女性トイレ 洗面コーナー

空間の回遊性およびコミュニケーションの機会創出を考慮し、アイランド型の洗面コーナーを設置。衛生性や利便性に配慮して、自動水栓や水石けん入れ、クリードライ(ハンドドライヤー)を設置している。



1F(スタイリッシュ) 女性トイレ 大便器ブース

白基調でシンプルな空間。ウォシュレットのリモコンは、押すたびに発電し、電源工事や電池交換が不要なエコリモコンを採用。棚付きの紙巻器を設置することで、衛生用品などの小物置きに配慮している。



1F(スタイリッシュ) 男性トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーには、楕円形のアンダーカウンター式洗面器を採用。洗面器のデザインとあわせて自動水栓や水石けん入れも丸基調を選定。また、男性の身繕い配慮として、トイレ出入口付近に全身鏡を設置している。



1F(スタイリッシュ) 男性トイレ 小便器コーナー

女性トイレと同様に、白・黒のシンプルなカラースキームの空間。器具数は、休憩時間やイベント時など利用者が多い時間帯でも快適に利用できるよう、ゆとりを持った器具数を確保している。



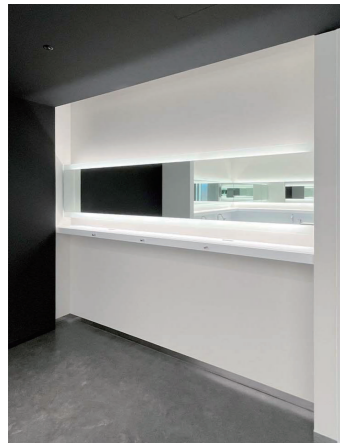
1F(スタイリッシュ) バリアフリートイレ

隣接する建物の3Fにアリーナがあり、4号館のトイレを式典などのイベントで使用することを想定して、車いす利用者やオストメイトに配慮したコンパクト・バリアフリートイレパックを左右勝手に2ヶ所設置している。



2F(スタイリッシュ) 女性トイレ 洗面コーナー

2Fトイレのデザインテーマも1Fと同様に「スタイリッシュ」。白・黒・シルバーを基調として、気持ちの切り替えができるメリハリの効いた空間。ベンチが設置され、学生同士のコミュニケーションにも配慮している。



2F(スタイリッシュ) 女性トイレ パウダーコーナー

洗面コーナーの向かいには、スタンディングタイプのパウダーコーナーを設置。荷物フックやコンセント、呼出ボタンを設け、居心地のよいトイレというコンセプトにふさわしく、利便性や防犯面に細やかに配慮している。



2F(スタイリッシュ) 男性トイレ 洗面・小便器コーナー

女性トイレと同様に白・黒を基調としたシンプルな空間。小便器コーナーには、手荷物や傘などが掛けられるよう配慮がなされている。



3F(エネルギッシュ) 女性トイレ 洗面コーナー

3Fトイレのデザインテーマは「エネルギッシュ」。赤とゴールドのカラースキームで学生の好奇心を刺激する。動きのある鏡照明やカラフルなペンダントライトなどで、遊び心を演出している。



3F(エネルギッシュ) 女性トイレ パウダーコーナー・更衣室

パウダーコーナーの化粧鏡にフロスト加工で斜めにラインを入れ、大学の校章を意識したデザインを施している。さらに、更衣室にも、大学の校章デザインを取り入れたオリジナルサインが掲示されている。



阪南大学 4号館



3F(エネルギーッシュ)  
男性トイレ  
洗面・小便器コーナー



男性トイレの内装も女性トイレと同様に、アクセントに赤色を取り入れた、活力を感じさせる空間となっている。



4F(ナチュラル)  
男性トイレ  
洗面・小便器コーナー



男性トイレも女性トイレと同様に、木目調の内装材を取り入れた、カジュアルで落ち着いた空間となっている。



5F(エレガント)  
女性トイレ  
パウダーコーナー

ホテルライクな上質さを意識した空間。化粧直しに集中できるよう、プライバシーに配慮した独立鏡や女性の顔を正面から明るく照らす壁付照明など、使い勝手に配慮している。



4F(ナチュラル)  
女性トイレ  
洗面・パウダーコーナー

4Fトイレのデザインテーマは「ナチュラル」。木目調の内装材を使用した温かみを感じられる空間。女性の体格にあわせて高さ違いに配置した丸鏡が、空間に柔らかさと個性的な動きを生んでいる。



5F(エレガント)  
女性トイレ 洗面コーナー

5Fトイレのデザインテーマは「エレガント」。深みのある色調の内装材や、天井や鏡枠に施したモールディング、優美な照明計画などによってプレミアムな空間を演出している。



5F(エレガント)  
男性トイレ  
洗面・小便器コーナー

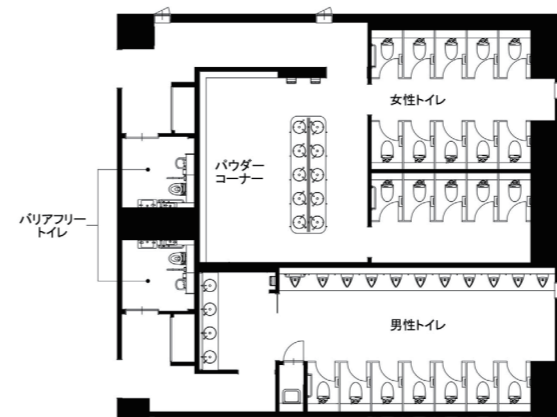
女性トイレと同様に、深みのあるカラースキームを取り入れた知的で落ち着いた空間を感じる空間。空間全体が穏やかで柔らかな明るさで満たされるように、照明計画にも配慮している。



4F(ナチュラル)  
女性トイレ  
大便器ブース・更衣室



洗面コーナーと同様に大便器ブースも木目調の内装材を使用した、心落ち着く空間。就職活動時や、急な着替えに対応できるスペースとして更衣室も設置している。



1Fトイレ図面

1Fは、ホールや大教室などがあるため、大人数の同時利用に配慮して、ゆとりを持たせた平面計画。車いす使用者やオストメイトに配慮して、左右勝手に2ヶ所のバリアフリートイレを設置している。



2・5Fトイレ図面



2～5Fは、トイレレイアウトを統一し、内装計画によって各階異なる空間を創出。バリアフリートイレは、性的マイノリティにも配慮して、男性・女性トイレの間に配置し、共用部から直接出入り可能な計画としている。

水まわりの特長

建物の特徴

「阪南大学」は、1939(昭和14)年に創立された私立大鉄工学校に始まり、大学としては1965(昭和40)年に発足。2040年には、大学創立75周年を迎える、歴史と伝統を誇る私立大学。2024(令和6)年に、全学部共通の教室棟となる新校舎4号館を本キャンパスに竣工。地上5階建ての建物の中心には、明るさと開放感を生む吹き抜けが設けられ、学生の活気に満ちた空間を創出。キャンパスの中心となる中庭の賑わいを取り込むように、段状に連なるテラス空間は、緑と風を感じられ、授業の前後などに学生が憩い、ふれあうシンボリックなスペースとなっている。テラスとつながるコモンスペースなど、パブリックスペースの充実を考えた設計により、授業以外の休憩や自習時にも、学生の「居場所」となる空間を創出している。

水まわりの特長

学生が訪れたいキャンパス作りとして、トイレスペースの充実を検討。コンクリートの床やデッキプレート現しの天井など、簡素で外部のような共用空間の内装計画と対比的に、トイレスペースが別世界になるよう「各階違うテーマ別トイレ」を計画。建物におけるトイレの位置付けを「もうひとつの居場所、キャンパスに別世界を演出するトイレスペース」とし、各階に個性を際立たせるトイレデザインテーマを設定することで、学外に発信し、学生を惹きつける大学の魅力を高めるトイレを実現。1・2Fは「スタイリッシュ」3Fは「エネルギーッシュ」4Fは「ナチュラル」5Fは「エレガント」とし、各階毎で異なる内装が施され、その日その時の気分に応じて「使いたいトイレ」を選べるように設計されている。

建築概要

名称	阪南大学 4号館
所在地	大阪府松原市天美東5-4-33
施主	学校法人阪南大学
設計	株式会社日建設計
施工	建築 松井建設株式会社
竣工年月	2024年3月
敷地面積	40,190.87㎡
建築面積	2,705.77㎡
延床面積	9,899.85㎡
構造・階数	鉄骨造・地上5階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式:CS494系
- ウォシュレットアプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5841P
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534
- 棚付二連紙巻器:YH701
- 自動洗浄小便器:UFS900R
- 洗面器:LS703、L530
- 台付自動水栓:TLE26007J、TLE26006J
- 水石けん入れ:TLK05204J、TLK05202J
- クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC430WJ
- コンパクト・バリアフリーパック:UADAK21R1A1ADD2BA、UADAK21L1A1ADD2BA